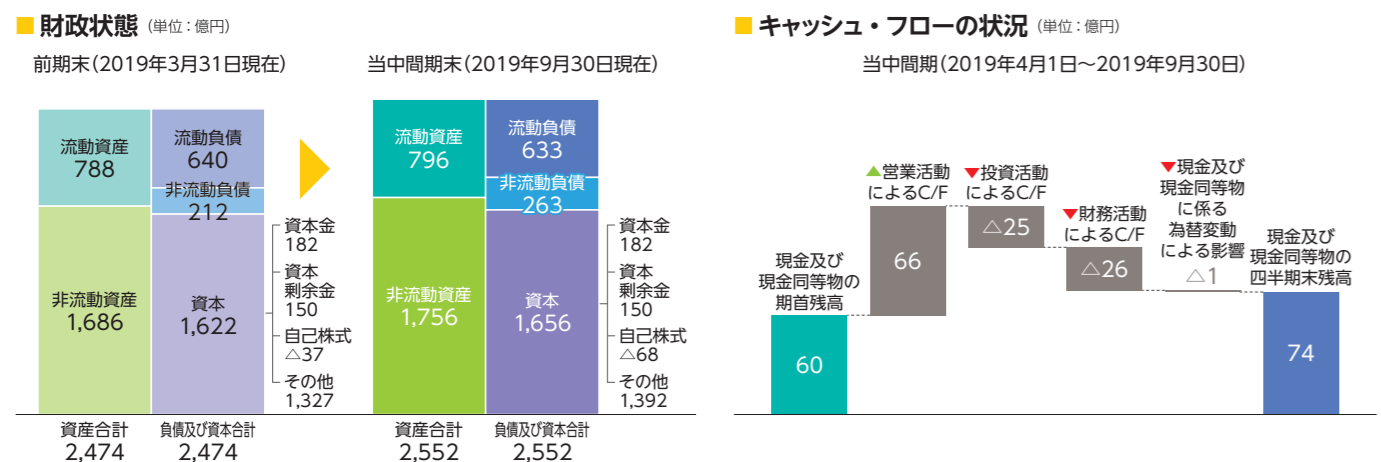
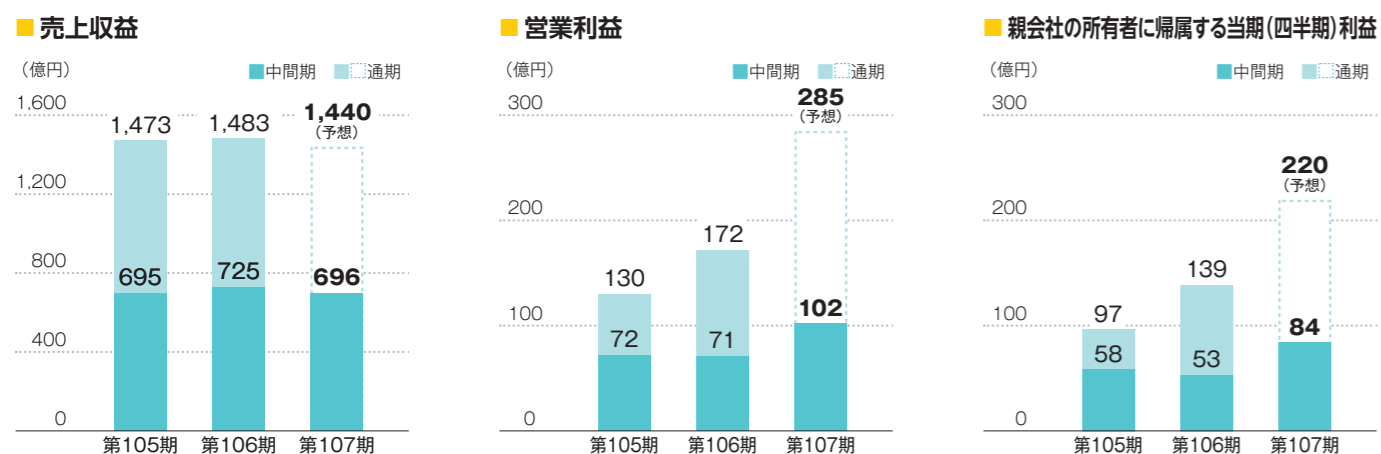


科目	第105期 (2017年度)		第106期 (2018年度)		第107期 (2019年度)	
	中間	通期(期末)	中間	通期(期末)	中間	通期予想
売上収益 (億円)	695	1,473	725	1,483	696	1,440
営業利益 (億円)	72	130	71	172	102	285
税引前(四半期)利益 (億円)	72	127	73	174	101	285
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益 (億円)	58	97	53	139	84	220
基本的1株当たり当期(四半期)利益 (円)	325.5	507.5	257.6	679.6	417.2	1,111.2
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	7,257.3	7,271.7	7,695.1	7,922.6	8,284.1	—
親会社所有者帰属持分比率 (%)	60.0	62.0	64.0	64.9	64.3	—



◆表示単位未満を四捨五入しています。

**第107期剰余金の配当(中間配当)に関する取締役会決議**

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。

2019年10月24日開催の当社取締役会において、第107期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の中間配当は、1株当たり85円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金(円)

	106期	107期
中間	70	85
期末	95	85(予想)
年間	165	170(予想)

**会社の概要** (2019年9月30日現在)

商号 株式会社クレハ  
 英文社名 KUREHA CORPORATION  
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2  
 設立 1944年6月21日  
 資本金 18,169百万円  
 グループ従業員数 4,360名(単独: 1,761名)  
 連結対象会社数 30社(連結子会社28社、持分法適用会社2社)  
 ホームページ <https://www.kureha.co.jp/>

**役員** (2019年9月30日現在)

代表取締役社長 小林 豊  
 取締役常務執行役員 佐藤 通浩  
 取締役常務執行役員 野田 義夫  
 社外取締役 戸坂 修  
 社外取締役 尾越 忠夫  
 常勤監査役 吉田 徹  
 常勤社外監査役 桐山 勝  
 社外監査役 押味 由佳子  
 常務執行役員 西畑 直光  
 常務執行役員 陶山 浩二  
 執行役員 田中 宏幸  
 執行役員 名武 克泰  
 執行役員 米澤 哲  
 執行役員 並川 昌弘

**株主メモ**

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 6月

**株主確定基準日** 定時株主総会 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

**公告方法** 当社のWebサイトに掲載します。  
 (<https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html>)  
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲1-2-1  
 みずほ信託銀行株式会社

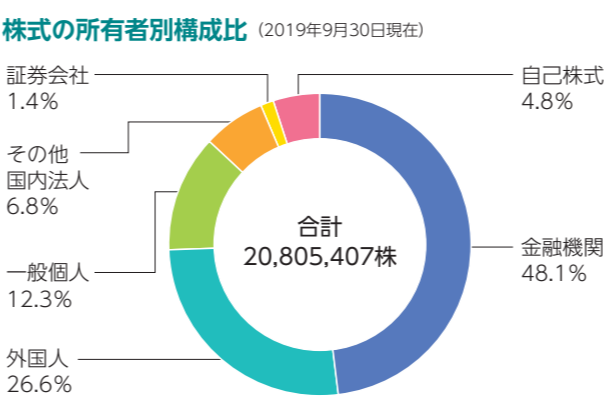
**株式の状況** (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式総数 20,805,407株  
 株主数 11,108名

**大株主の状況** (2019年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,892	9.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,382	7.0
明治安田生命保険相互会社	1,374	6.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	737	3.7
東京海上日動火災保険株式会社	624	3.2
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	457	2.3
株式会社みずほ銀行	400	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	345	1.7
JP MORGAN CHASE BANK 385151	301	1.5
JP MORGAN CHASE BANK 385166	269	1.4

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。持株比率は自己株式を控除して計算しています。



**お取扱窓口**  
 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。  
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

●お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
 みずほ信託銀行 証券代行部  
 フリーダイヤル 0120-288-324  
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

●お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行<sup>(※)</sup>  
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

●未払配当金のお支払 みずほ信託銀行<sup>(※)</sup>およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)  
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



クレハレポート  
**KUREHA REPORT**

第107期 中間報告書  
 2019年4月1日 >> 2019年9月30日

トップメッセージ  
 変革への挑戦で  
 新たな価値を

株式会社クレハ  
 KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023



## 変革への挑戦で新たな価値を

### ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第107期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 **小林 豊**

### 当中間期の概況について

中国経済の減速および米中貿易摩擦をきっかけに世界経済の成長が鈍化する一方で、わが国経済は雇用環境の改善を背景とした個人消費拡大により内需が堅調で緩やかな景気回復が継続しました。

当社におきましては、機能製品事業や化学製品事業が減収となり売上収益は前年同期比4%減の695億78百万円となりました。営業利益は、PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品の原価低減や連結子会社による新規企業結合に伴う割当購入益を計上したことなどにより、同44.8%増の102億30百万円、税引前四半期利益は同38.4%増の101億41百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同57.0%増の83億57百万円となりました。

当期中間配当金は、当初の予想通り1株につき85円とさせていただきます。

### 中期経営計画 [Kureha's Challenge 2020]の進捗状況

中期経営計画[Kureha's Challenge 2020](以下、中計2020)の初年度にあたる当期は、前中計[Kureha's Challenge 2018](以下、中計2018)に引き続き、「製品差別化」と「新事業創出」を基本的なコンセプトとし、機能製品事業をコアとする事業ポートフォリオへの変革と高付加価値企業として飛躍する土台固めに取り組んでおります。

機能製品事業においては、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂は、今年1月にいわき事業所(福島県いわき市)で年産2千トンの設備増強を行い、世界的な自動車の電動化の流れを受けて海外の電池メーカーへの販売が拡大しています。シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品は、主要市場である

米国で、きめ細やかな顧客サービスを行うため営業拠点を拡充しました。また当社家庭用品をはじめとして高い品質と機能を兼ね備えた製品を提供し続けてきた既存事業においても、顧客ニーズの反映と品質およびコストの差別化を徹底し、競争力・収益力の向上を図っています。なお2019年11月に樹脂製品事業のプローボトル事業を共同印刷株式会社に承継しています。

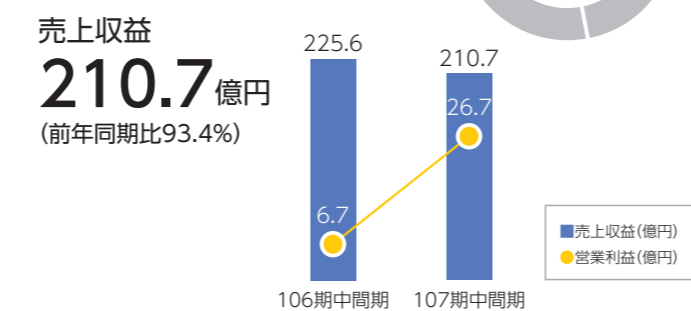
### 当期の業績予想と今後の取り組み

2020年3月期において、売上収益は前期比2.9%減の1,440億円、営業利益は同66.0%増の285億円、税引前利益は同63.5%増の285億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同57.9%増の220億円と、前期比で減収ながら増益を予想しております。営業利益の大幅な増加は、2019年11月に東京都新宿区にある本社別館の土地を譲渡しており、営業利益の内数となる“その他の収益”に譲渡益(約92億円)を計上することによるものです。

私たちクレハは、ステークホルダーの皆様へのコミットメント(約束)を果たし、信頼を積み重ねていくことに拘りを持ち、この業績予想を確実に達成してまいります。

当社は、創立以来培ってきた独創的な技術力をもとに、スペシャリティ・ケミカル分野において、人々のくらしや地球環境に役立つ製品を創出して、社会の発展とともに歩んできました。今、企業には、地球温暖化やSDGsをはじめ様々な社会的課題に対して、それぞれの強みを活かして解決策を提供し、持続可能な社会に向けた貢献と企業価値創出が社会から求められています。当社は、これからも「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいります。

## 機能製品事業



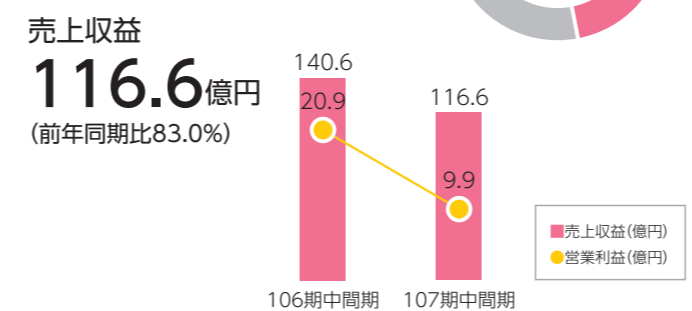
### 機能樹脂分野

リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂およびPPS樹脂の売上は増加しましたが、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品の売上が減少し、この分野での売上は減少しました。営業利益は、持分法を適用している米国の合弁事業の利益が増加したこと、および前年同期は生産がなく営業損失であった米国のPGA樹脂製造会社において当四半期では生産を行い営業利益を計上したことなどにより増加しました。

### 炭素製品分野

高温炉用断熱材向けの炭素繊維の売上が減少し、この分野での売上、営業利益はともに減少しました。

## 化学製品事業



### 医薬・農業分野

慢性腎不全用剤「クレメジン」の医薬品の売上は前年同期並みでしたが、農業・園芸用殺菌剤の売上が減少し、この分野での売上、営業利益はともに減少しました。

### 工業薬品分野

無機および有機薬品類の売上が減少し、この分野での売上、営業利益はともに減少しました。

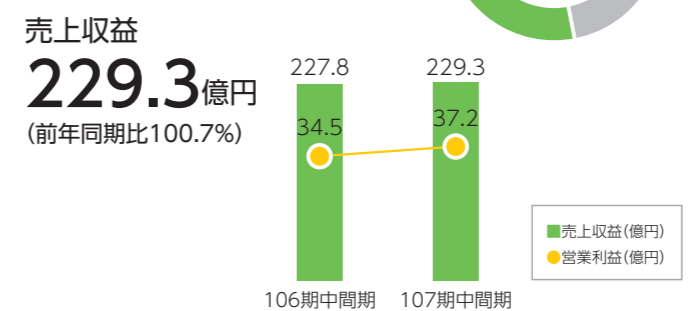


慢性腎不全用剤「クレメジン」速崩錠



農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」

## 樹脂製品事業



### コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上が増加し、この分野での売上、営業利益はともに増加しました。

### 業務用食品包装材分野

熱収縮多層フィルム等の売上が減少し、この分野での売上、営業利益はともに減少しました。

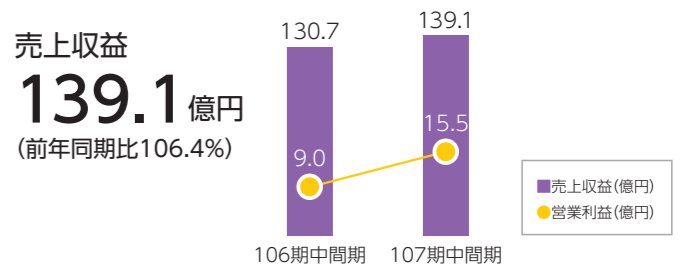


家庭用ラップ「NEWクレラップ」



熱収縮多層フィルム(食品用途)

## 建設関連事業とその他関連事業



### 建設関連

建設事業では、建築工事等の増加により、売上、営業利益はともに増加しました。

### その他関連

環境事業では、産業廃棄物処理の増加およびひめゆり総業(株)の新規連結により、売上、営業利益はともに増加しました。運送事業では、売上は減少しましたが、営業利益は増加しました。病院事業では、売上は増加しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。



環境事業(クレハ環境)



病院事業(呉羽総合病院)

# T O P I C S

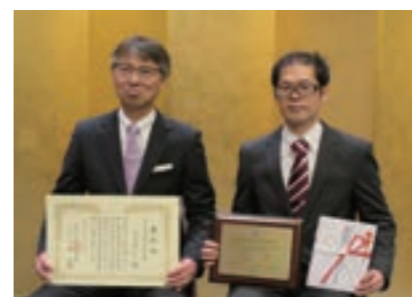
## PGA(ポリグリコール酸)樹脂 日本化学工業協会「日化協技術賞 技術特別賞」を受賞

PGA(ポリグリコール酸)樹脂(以下「PGA」)の製造技術開発と市場開拓に関する業績が評価され、日本化学工業協会より「日化協技術賞 技術特別賞」を受賞しました。

「日化協技術賞」は優れた化学技術の開発や工業化により、化学産業ならびに経済社会の発展に寄与した事業者を表彰する制度です。

当社は世界で初めてPGAの量産化に成功し、2012年に商業生産を開始しました。その製造技術の確立に加え、PGAの特性を生かした用途を開発したことが評価され、今回の受賞となりました。

PGAは北米において、シェールオイル・ガスの掘削に使用される機器への採用が広がっています。地表から地下深くにあるシェール層に高い水圧をかけ、人工的に亀裂を入れることにより抽出するシェールオイル・ガス。高い強度と分解性という特性を併せ持つユニークな樹脂であるPGAは、限りあるエネルギー資源の効率的な採取に貢献しています。



## ピエゾ事業の拡大につなげる Cambridge Touch Technologiesへ出資

英国ケンブリッジ大学発のスタートアップ企業であるCambridge Touch Technologies Limited(本社:英国ケンブリッジ市、CEO: Corbin Church、以下「CTT」)が進めている次世代型3Dマルチタッチセンサーの開発に対し出資を行いました。

CTTが開発しているマルチタッチセンサーはスマートフォンや車載向けのディスプレイをはじめ、様々な電子デバイスへの用途展開が大きいと期待されています。当社はCTTとの連携を強化し、次世代型3Dマルチタッチセンサーの開発と用途展開に参画することにより、フッ化ビニリデン樹脂によるピエゾ事業の拡大も図ります。



## キチントさん「ダストマン 消臭シート」リニューアル

ゴミ容器のフタの裏にピタッと貼るだけで、生ゴミなどの嫌な臭いを脱臭・消臭する「ダストマン消臭シート」が、さらに強力になりました。

従来品よりも高性能な活性炭を使用するとともに、新たに多孔性の銅ゼオライトをプラスし、脱臭効果を向上させました。また、銅ゼオライトの銅イオンと臭い成分が化学的に吸着して消臭効果も向上。脱臭と消臭のダブル効果で、生ゴミなどの嫌な臭いを撃退します。

